

シーン ー 8 クリーンエネルギー利活用実践推進事業

事業目的

県立の専門高校において、資源やエネルギーの有限性と環境問題を再認識し、クリーンエネルギーの利活用などに関する実践的な学習を通し、地球規模の視点に立って、環境の保全やエネルギー制約などの課題に対応できる職業人の育成をめざす。

事業効果

CO2削減効果	2.8t-CO2
その他 (環境教育授業時間数)	363時間

事業内容

平成25年度事業費 5,982千円

実施主体 2校 (黒川高校, 県水産高校)

内 容

- ・LED照明による消費電力の学習及び地元企業と連携したLED街灯等の研究製作
- ・ソーラー発電の学習と植物プランクトン培養施設での利活用実践

(その他:平成24年度事業内容・・・継続実践中)

実施主体 4校 (黒川高校, 加美農業高校, 伊具高校, 白石工業高校)

内 容

- ・太陽光発電システムを活用した発電量に関する学習
- ・風力発電システムを活用した発電量に関する学習
- ・LED照明による消費電力の学習及び地元企業と連携したLED街灯等の研究製作
- ・太陽光発電を利用した温室制御に関する学習



平成24年度 実践報告から(伊具高校の活動)

風力・太陽光ハイブリッド発電システムの生徒による組立・完成を目指して指導しました。生徒が自分の手で装置を組み上げ、それを実習に活用することで、取り組む姿勢やモチベーションが高くなりました。

組み上げの途中で風力発電の仕組みを学習することができました。ほぼ、システムが完成したので、ソーラークッカーの試運転や風力と発電量に関する測定を行い、環境意識の高い人材の育成に努めます。



現 状

地球温暖化防止対策は、国・地域をあげて真剣に取り組むべき切実な課題であり、早い年齢からクリーンエネルギーの利活用などに関する実践的な学習が必要



税導入後のイメージ

専門高校で、実際にクリーンエネルギーを使いながら、実践的な学習を実施

